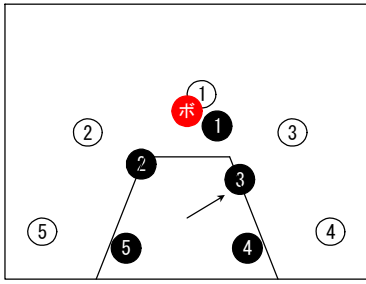
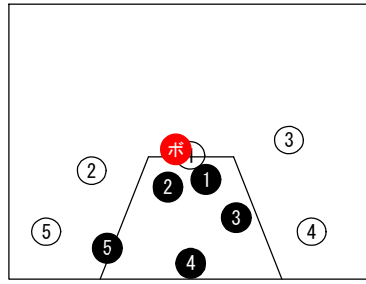




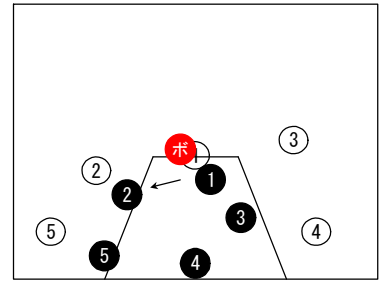
## A. ボールがトップ



(ア)



(イ)



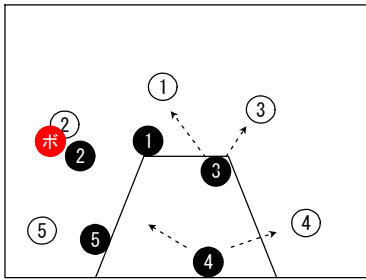
(ウ)

(ア) ①が①のチェックへ行き方向づけをする(図では、②にパスが行きやすいように方向づけをしている。) ③はボールと③が見えるところに移動。④は③のカバーと、①をヘルプできる場所へ移動する(1-2-2に変形)

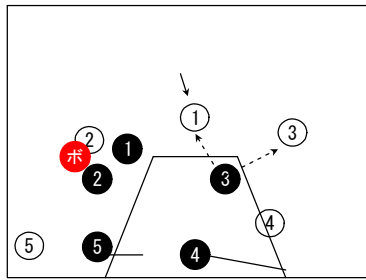
(イ) ①が正面からカットインに来たら、①②でダブルチーム。③は下がって③へのパスカットと④が入ってくるのに注意する。④は最後の砦<sup>とりで</sup>となり、台形に入ってくるオフENSEをチェックする。(2-2-1に変形)

(ウ) ①のドリブルが止まれば②は②のマークへ戻る(ショーディフェンスという)。(1-2-2にもどる)

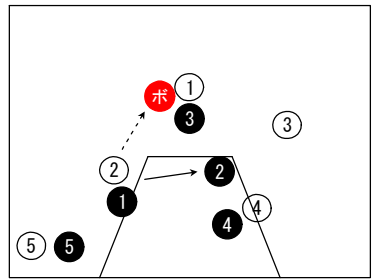
## B. ボールが45度



(ア)



(イ)



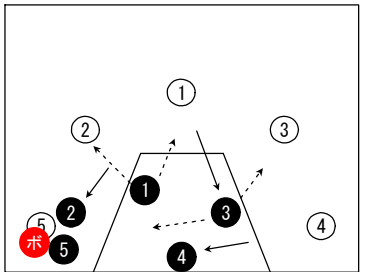
(ウ)

(ア) ②が②のチェックに行く。①は②のポジションをカバー。③は③とボールが見える位置まで下がる。

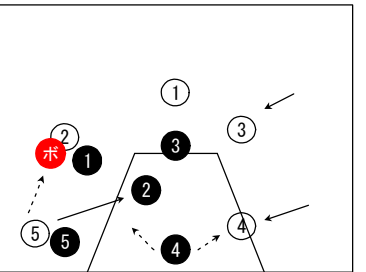
(イ) ②がカットインすれば、①②でダブルチーム。⑤は⑤へのパスをねらう。③はボールと③の両方が見えるところまで下がる。①へボールがいったら②が①につく。④は④が台形に入らないようにブロックする。

(ウ) ①へのリターンパスは③がパスカットねらい。②がローテーション。

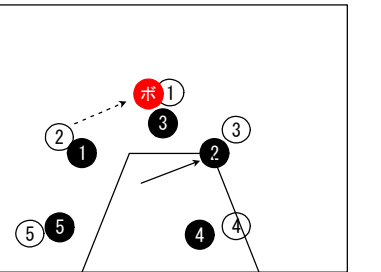
## C. ボールが0度



(ア)



(イ)



(ウ)

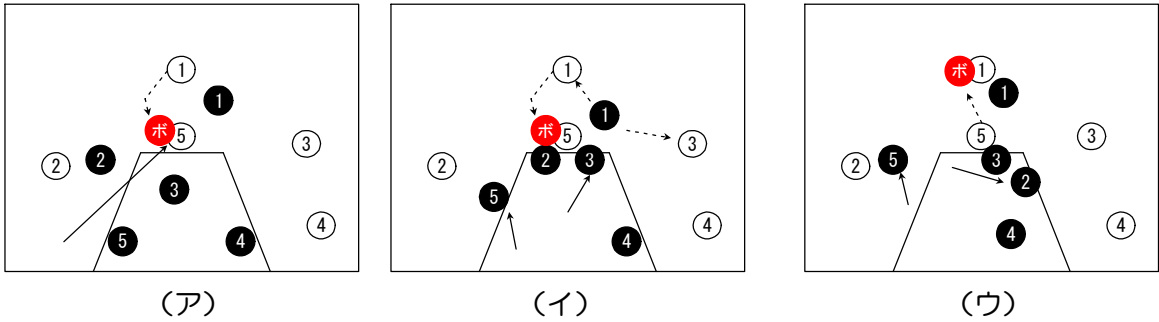
(ア) ⑤は⑤のチェックに行く。状況によってドリブルがなくても②は⑤とダブルチームを組む。①は②へのパスをカットをねらいながら①にも注意。③はボールと①③が見える位置に下がる。④は最後の砦<sup>とりで</sup>となる。

(イ) ②にボールが戻るとき、①はカットをねらう。カットできなかつたら②のマークにつく。②は①のポジションのカバーに行く。③は①へつく。④は第3線になるので、ピストルスタンスをとる。

(ウ) ボールがトップにもどったら、②は(原則として)ボールから一番遠いプレイヤーにローテーションする。(③が③についてしまったときは、②は①にローテーションすればよい。)

ポストプレイに対して

## D. センターがハイポストに立ったとき（ゾーンの原則を守る場合）



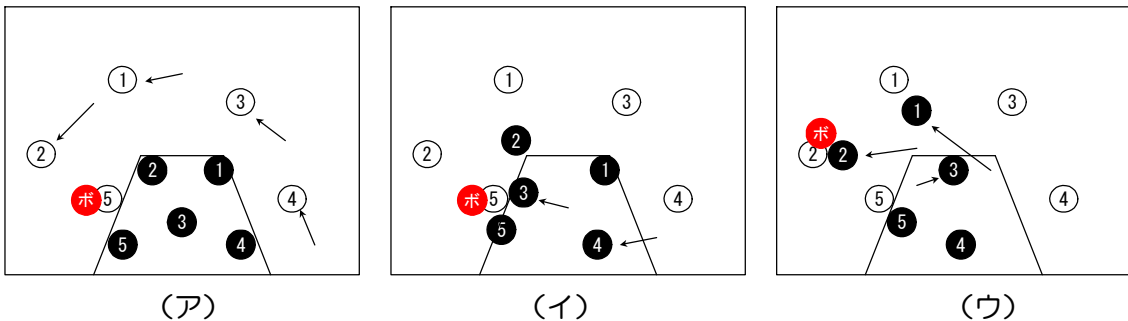
(ア) ⑤にボールが入る。

(イ) ①から⑤へバウンドパス。②③でダブルチームを組む。⑤は②、①は①③へのパスをカットに行く。①③へのリターンパスは、①がカットをねらう。③へのパスは取りやすいが、①へのパスは取りにくいからねらう。

(ウ) ①へのリターンパスが取れなかった場合は、①はそのまま①のマーク。②が③のマークへローテーション。③は⑤と台形をしっかりと守る

※ゾーンの原則を外すなら、⑤には⑤がつく場合も考えられる。しかし、ゴール下が空くことになる

## E. センターがミドルポストに立ったとき



(ア) ⑤にボールが入る。

(イ) ③⑤でダブルチーム。②は①のパスと②のパスの両方をチェックしなければならない。④は3線のポジションをとる(ボールと④の両方が見える位置)。①は③④が入ってくるのに注意する。

(ウ) ②にボールが返った場合、②がパスカットにしているはずなので、②はカットできなければ②のマークにつく。③は⑤からはなれて③をみる。①には①がつく。④は④を見つつ、最後の砦とりでとなる。

### ☆2-1-2の原則

ダブルチームを組んだとき、①②③はローテーションをする。④⑤はそのポジションのまま。

### ☆2-1-2の鉄則

とにかく、ディフェンスリバウンドは決して取らせてはいけない。